

絵を描こう、

「木」を例に挙げてみると、どの距離で観るかによって変わります。近くなれば幹や葉の質感や匂いを感じ、遠くなれば背の高さや風にそよぐ様子を発見できます。幹のみを観察してもいいし、木全体を面白がってもいい。それぞれの視点や経験によって「物」に見えたり、「事」として体験したりすることができます。一人一人がそれぞれの興味に素直になって、自分だけの特別を見つけ、楽しい絵画体験の時間にしましょう。

※既存のアニメキャラクターや特定の人物は禁止
※写真は撮ってもいいが、絵を描くときは見ないこと
※スケッチや言葉でのメモは絵を描くとき見ても良い

場 所 静岡県立美術館・実技室
対 象 小学生～中学生
※小学3年生以下は保護者同伴でご参加ください
時 間 10:00～16:00 ※昼休憩1時間含む
材料費 600円程度
観覧料 企画展：一般 1400円/70歳以上 700円/
大学生以下無料
※ワークショップ中に企画会、収蔵品展を鑑賞しますので、
保護者の方は観覧料が必要となります
定 員 12名
持ち物 ・昼食
・クロッキーブック または スケッチブック
※300×250mm以上/クロッキーブック推奨
汚れても良い活動しやすい服装でお越しください

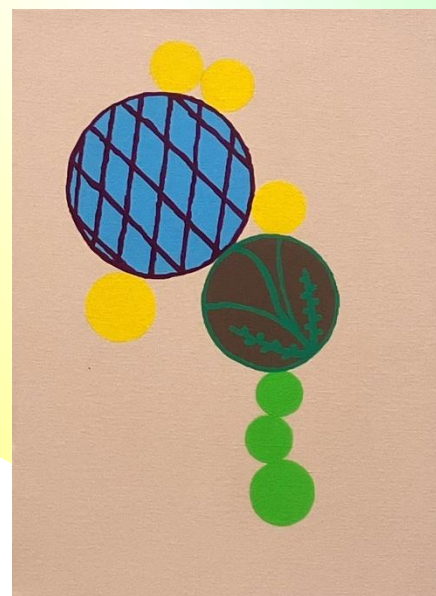
美術館内やその周辺を散策し、気になる物事を見つけ
5～10分観察しよう。その記憶を頼りにアクリル絵の具
を使って絵を描いてみよう。

物事を観よう

3/1(日)



小左誠一郎《ひまわり》



小左誠一郎《ひまわり》



講師 小左誠一郎 / おさせいいちろう 氏 (画家 / 「2000年代の絵画」展出品作家)

1985年静岡県焼津市生まれ。2011年に東京藝術大学大学院絵画科油画専攻修了。近年ではマスキングテープで囲んだ矩形の中を塗ることにより、世界に新たな厚み(陰影)を与え続けている。また絵画的実践と並行し俳句を詠む。近年の個展に「百合園」(Yutaka Kikutake Gallery、東京、2023)、「UPO」(Yutaka Kikutake Gallery、東京、2020)グループ展に「糸会」(Gallery10 [TOH]、東京、2025)、「床の在りか / 壁の在りか」(THE DRAMA、静岡、2025)、「VOCA展 2024 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」(上野の森美術館、東京、2024)、「花に水」(CAPSULE、東京、2023)、「絵の辻(都美セレクション グループ展)」(東京都美術館、東京、2023)

◆◆◆お申込み・お問合せ先◆◆◆

下記のいずれかの方法でお申込みください。
定員を超えた場合は抽選となります。

◆FAX ◆郵送 ◆実技室ポストに投函 ◆WEBから申込み

県美 HP アドレス: <https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp>

静岡県立美術館 学芸課 実技室担当 〒422-8002 静岡市駿河区谷田 53-2

申込受付期間: 2/4(水)～2/13(金) 必着

**抽選結果: 2/15(日)以降、メールまたはお電話にて
抽選結果を順次お知らせいたします。**

※上記受付期間内にお申込みが定員に満たなかった
場合は、以後、先着順にて受付いたします。



WEB申込みはこちら

TEL: 054-263-5857 FAX: 054-263-5742 ※共催 静岡県立美術館友の会

お申込み用紙

わくわくアトリエ

絵を描こう、物事を観よう 3/1(日)

フリガナ お名前	小・中 年生	代表者 TEL	連絡のつきやすい時間帯
フリガナ お名前	小・中 年生	メールアドレス	時頃

小学3年生以下の保護者付添の場合その氏名 ()

※定員を超えた場合は抽選となります。※ご記入いただいた内容は、イベントに関する連絡以外には使用いたしません。